

# 2016年度 事業計画

2016年1月1日から2016年12月31日まで

特定非営利活動法人シマフクロウ・エイド

## はじめに

環境 NGO・NPO は、持続可能な社会づくりや環境保全に欠かせない存在になってきました。シマフクロウ保護の課題を踏まえ、今後、活動の発信力、提案力、動員力など活動を支える力や、他の主体と連携や協働を行い、その機能を高めていくため、今年度は、保護・保全事業と普及・啓発事業において、そのロードマップ作りに取り組みを始めます。

# 事業内容

## I 保護・保全事業

### 1. 繁殖個体の追跡及び生息可能地の発掘

国によるシマフクロウ保護増殖事業の成果として、微増つつ確実にシマフクロウの数は上昇傾向であるなか、親離れした若鳥が定着地を求めて移動中に事故に遭う確率も高く、移動分散まで進めたものの絶たれてしまうという事態も多々確認されています。

新たに生まれた繁殖個体の「定住地となる生息可能地域の保全」がこれからはとても重要になると考えられ、シマフクロウを含めた生物多様性の構築が望める「生息可能地の発掘」や「環境整備・保全」を最重要課題と位置づけ、自治体等と協働して保護・保全活動を実行して行くためのロードマップ作りに着手します。

\*実施にあたり、予算申請中となり採択の上実施となります。

#### 1) 繁殖確認調査および行動観察

継続して観察しているペアの今年度の繁殖が確認された場合、シマフクロウへの影響を最小限にした手法で、初冬期まで継続調査を実施します。補助給餌場を利用している個体の行動や給餌量についてモニタリングも引き続き通年にわたり実施します。

#### 2) 繁殖個体の追跡調査

既存の繁殖個体のテリトリーの周辺で新たな繁殖個体を確認されたエリアにおいて、繁殖期を重点に追跡調査を実施します。

#### 3) 生息可能地の調査

既存の生息地以外の生息可能地が幾つか存在するものの、残念ながら現状のままでは繁殖まで中々進めない状況です。20年前は河川環境が悪く、シマフクロウの餌となる魚類の確認が難しかった箇所、近年、魚類が確認できる川が増えてきており、シマフクロウの生息可能地としてのランク付けが急務と考え、定着を目的としたある程度の環境整備に向けた事前調査を釧路管内の複数河川で実施します。

#### 4) 調査・パトロールの募金活動

シマフクロウの置かれている現状やその課題解決に向けた調査・生息地パトロールなど基盤となる取り組みの重要性や、現段階における解決策を SNS や講演、イベント、紙面等を通じてわかりやすく伝え、参加しやすい募金活動に取り組みます。

## 2. 給餌

### 1) 補助給餌

絶滅のおそれのあるシマフクロウへの支援として、おさかな寄付収入で活魚を購入し、年間を通じて専用給餌池に放流し、繁殖を補助します。設立当初から今日まで、個人や団体、企業の皆様のご支援によって通年にわたり実施しています。

### 2) おさかな寄付の募金活動

シマフクロウの現状や補助給餌の必要性をわかりやすく広報し、シマフクロウ支援に参加しやすい募金活動に取り組みます。

## 3. 植林メンテナンス

2013年にシマフクロウの将来の生息地作りのため、広葉樹を千本植え、確実に根付く広葉樹の植林を検証しています。今年度も、ボランティアの皆様と協力して、草刈り等のメンテナンスに取り組みます。

# Ⅱ 普及・啓発事業

## 1. 環境教育

シマフクロウをテーマとした環境教育「シマフクロウ学習」を関係地域の学校で実施します。児童や先生方にシマフクロウの生態や現状、人の営みと生き物のつながりについて、効果的に知る場とし、今年も、地域一体でのシマフクロウ保護に向けて、理解と関心を推進します。さらに効果的に伝える学習方法を試験します。

## 2. 人材育成

シマフクロウの保護調査員の取組み等をホームページや講演などで紹介し、次世代の人材の発掘に寄与します。

関係機関の研修等を受け入れ、双方の課題を共有し、野生生物保護や環境保全の推進に寄与します。

### 3. 広報

シマフクロウがおかれている現状や課題、当活動の取組みを分かり易く伝える広報ツールについて、多様なセクターと協同しながら多角的に見直し、課題解決の促進を目指します。

#### 1) インターネットによる発信

ホームページをわかりやすく使いやすい情報発信ツールにします。

\*実施にあたり、予算申請中となり採択の上実施となります。

フェイスブックやブログ等SNSを通じて、シマフクロウの現状や保護活動の課題、当活動の取組みを発信し、多くのセクターと共有します。

#### 2) 講演・対話を通して伝える

講演講師のご依頼ご相談に対応し、シマフクロウの現状や保護活動の取組みをわかりやすくスライド等で紹介します。

活動報告会を開催し、当活動やシマフクロウのおかれている現状などを直接紹介する機会を作り、来場者と課題解決に向けて共に考える場とします。

#### 3) イベント出店

イベントに出店し、参加や体験を通じて、シマフクロウについて親しみながら理解や関心を推進します。

#### 4) 会報や印刷物による発信

○サポーター向け会報：

季節毎のシマフクロウや保護活動、地域の取組み、関連ニュース等をご紹介し、サポーターにより一層伝わる会報を目指し、理解と関心の深化に取り組みます。

○WinWin 広告：

地域一体でのシマフクロウ保護を推進する一環の取組みとして、浜中町内で引き続き広告を募集し、地元の団体等の取組みを会報等でご紹介し、地域住民とシマフクロウの両者をつなぐ取組みを推進します。

○町内広報誌：

地元住民向けの広報誌などを通して、当活動の取組みや協力内容などをわかりやすく広報し、地元の皆様に活動への理解や協力を推進します。

#### 5) メディアによる発信

新聞、ラジオ等メディアを通じて、当活動の取組みなどを紹介します。

以上